

# みしま野

## 茨木小学校正門【茨木城櫓門】

いばらきしょうやぐらもん

茨木市の中心部にこの地域で最初に創立された小学校がある。茨木小学校である。この小学校は、明治8年に御坊さんで親しまれている「東本願寺」の一隅で始められたが、やがて現在の場所に安住の地を見出し、現在に至るまで多くの卒業生を輩出してきた。

茨木小学校の住所は「片桐町」であり、かの豊臣秀吉の家臣でも知られる片桐且元の名前から取られたとされる。茨木小学校は片桐且元が城主として入城した茨木城の跡地に建てられている事で知られており、校歌にも「…この城跡の学園に…」と唄われている。

平成5年5月22日、茨木小学校創立120周年の折に、敷地の東側に設えられた鉄製の正門を縮小し、昔の櫓門を再現して新しく建築されたのが茨木小学校正門・茨木城櫓門である。再現する元となった旧茨木城櫓門は作家の志賀直哉も好んだ門であるとされて



正面



南側から望む茨木小学校正門



繊細な意匠の軒裏

所在地：茨木市片桐町 8-40  
最寄駅：阪急茨木市駅下車 徒歩約 10 分  
若しくは JR 茨木駅下車 徒歩約 15 分  
TEL：072-624-3132（問合せは茨木小学校へ）  
外部でも小学校に連絡の上、ご覧下さい。なお 2 階部分には上げられませんのでご注意ください。

おり、現在でも奈良県大和郡山の慈光院山門として伝えられている。

慈光院は片桐且元の甥に当たる片桐石州によって造られた寺院で、茶室から見る借景でも有名である。因みに片桐石州は此处茨木城で生まれ、仙洞御所の庭園を完成させている。慈光院の境内は全体が茶席そのものであるとされており、山門も茶席の一部を形成している事から推せば、旧茨木城櫓門は規模こそ小さいが、茶室建築に相応しい意匠性に富んだ姿をしていると考えられていたに違いない。城門には珍しい「侘び」「寂び」の趣を持った山門を手本に採寸し図面を作成し、忠実に再現したのが茨木小学校正門・茨木城櫓門なのである。慈光院にある旧櫓門の屋根は、現在茅葺きであるが、茨木小学校で再現された櫓門は、特殊建築物である小学校の正門と言う性格もあって、棧瓦葺で再現されている。（神保 勲）